

SRS-010

SMART RIDE MONITOR

AIO-5 Lite

with TPMS

SRS-010 スマートライドモニター AIO-5 Lite(空気圧センサー付き) <取扱説明書>



■ 本書は紛失しないよう大切に保管してください。

V1.0



この度はTANAXのスマートライドモニターAIO-5 Lite をご購入いただき誠にありがとうございます。

AIO-5 Liteは、スマートフォンとリンクさせることでナビゲーションや音楽などの様々なアプリをオートバイで活用できるワイヤレスモニターです。お使いのスマートフォンを振動や雨、熱に晒すことなく、1000nitの高輝度モニターで昼夜問わず鮮明な情報を確認することができ、搭載した高速モジュールが素早くストレスフリーな操作を実現しています。また高性能前後カメラはドライブレコーダー機能に加え死角検知(BSD)機能も提供。AIOの意味する通り、まさにオールインワンの高機能デバイスです。

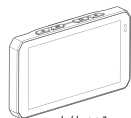
それでは新しい走行体験をお楽しみください!!

- 本製品は使用環境の改善・向上のため、新しいFW(ファームウェア)が不定期にリリースされます。
- FWのリリース情報は弊社HPにて告知されます。
- 本書の表記内容(画面上のメニュー名表記など)はファームウェアのバージョンによって変更される場合がございます。
- 製品が工場出荷後、お客様のお手元に届くまでの間に新しいFWがリリースされている場合がございますので、アクティベーション(初回起動)後はまず「設定」→「更新」→「アップデートの確認」でFWが最新かどうかの確認を行ってください。

注意

- ⚠ 取り付けの注意** ●法令を守りお取り付けください。●作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。●本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験のない方、工具等の準備が不十分な方は必ず技術的信用的な専門店またはお買い上げの販売店等にご相談ください。●本製品は汎用品です。取り付け出来ない車両や電装機器があります。予め弊社では取り付けの電装機器の保証、説明は致しかねますので、ご了承ください。●重大な事故につながる可能性がありますので、走行前に配線の取り直し、各部品の固定に異常がないことを確認してください。また定期的に同様の点検を行ってください。●取り付け作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(車両が転倒し怪我する恐れがあります。)●配線は、極性を確認後にプラス→マイナスの順で接続し、マイナス→プラスの順に取り外してください。●取り付け後は定期的にガタツキや緩みが無いか点検を行ってください。●走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ点検を行ってください。●取り付け作業前には必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ショートによる感電や車両火災の原因になります。●感電や車両火災の原因になりますので、取り付け中は第三者が触れない場所で作業してください。●本体や配線コードなどが車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。●配線コードやカメラなどがエンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。
- ⚠ 使用上の注意** ●法定速度以上での使用はお控えください。本体取付ステーやカメラが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●本製品をメーターやバグミラーの代わりとして使用しないでください。重大な事故及び破損の原因になります。●走行中は操作しないでください。必ず停車させて周囲の安全を確認してから操作してください。●本体やカメラを分解しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でステーやカメラが緩む恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

製品構成



本体 ×1



カメラ×2



GPS受信機×1



タイヤ空気圧
センサー ×2



空気圧センサー
緩み止めナット ×2



標準ボールヘッド ×1
※本体に取り付けられています。



ハンドルクランプ
マウント ×1



クランプスペーサーセット ×1
(Φ22.2/Φ25.4/Φ28mm
/傷つき防止テープ)



電源ケーブル ×1



取り付け工具
セット ×1



空気圧センサー
取り付け工具 ×1



エレクトロタッパ ×2



カメラ用
両面テープ ×2



ナイロン結束バンド ×5



面ファスナー
結束バンド ×2



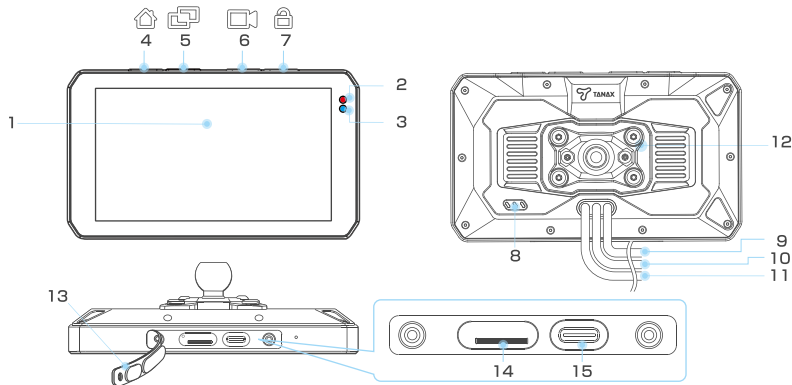
ステッカーセット ×1



FWアップデート用
microSDカード ×1

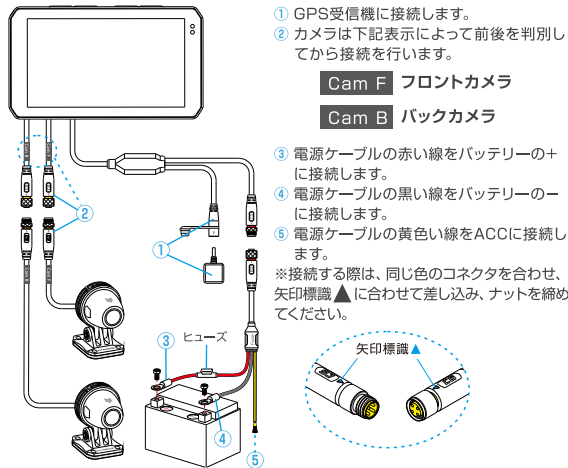
各部名称

1. ディスplaysクリーン
2. 録画インジケーター
(録画中は点滅します)
3. 光感知センサー
4. ホームボタン
5. リンクボタン
6. ドライブレコーダーボタン
7. 画面ロックボタン
8. スピーカー
9. フロントカメラケーブル
10. バックカメラケーブル
11. 電源・GPSケーブル
12. 振動吸収ダンパーベース
13. 防水キャップ
14. SDカードスロット
15. 診断用ポート



配線

左記の配線図の様に車両のバッテリーと本製品を接続して車両のキーをONにし、モニター画面に起動画面が表示されれば配線完了です。



注意

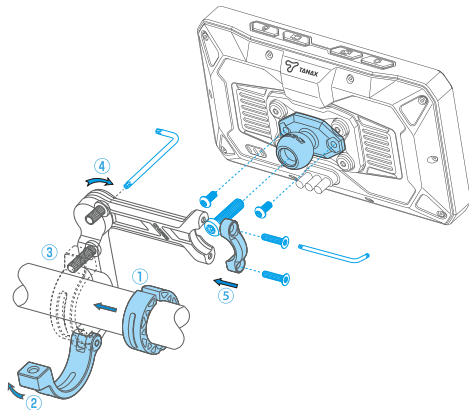
- 取付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子（マイナスターミナル）を外してください。結線中にショートすることがあり、感電や車両火災の原因になります。
- ACCは必ず車両の電源がONの時は常時電流が流れている箇所に確実に接続してください。●本製品の消費電力は9.184W(12Vの場合)です。挙動が不安定になる場合があるので他のアクセサリや車両の発電容量に注意してください。

本体の取り付け

本体を付属品のハンドルクランプマウントを使用して車体に取り付ける場合は、ハンドルバーに下記の要領で取り付けてください。

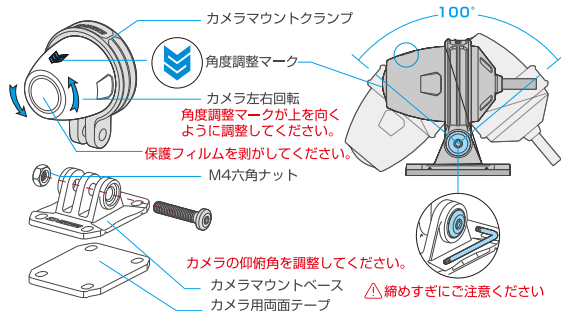


ハンドルバーの直径に合わせて、適切なクランプスペーサーを選択してください。
32mmのハンドルバーの場合は、傷を防ぐために傷つき防止テープを使用してください。



カメラの取り付け

本体を付属品のハンドルクランプマウントを使用して車体に取り付ける場合は、ハンドルバーに下記の要領で取り付けてください。



カメラは最適な取り付け位置を確認し、下記の要領で取り付けてください。

- ① カメラマウントベース裏面とカメラ取り付け場所を十分に脱脂した後、カメラ用両面テープでカメラマウントベースを貼り付けます。
- ② M4×20穴付スクリューボルトを緩め、カメラの仰俯角と水平を調整してください。カメラの水平の調整はカメラの角度調整マークが上を向くようにカメラを回転させて行います。角度の調整ができたならボルトを締め込んで調整完了です。
- ③ 使用前にカメラのレンズに貼られている保護フィルムを剥がしてください。

注意 カメラ用両面テープを貼る場所は十分に脱脂を行い、貼り付け時は10秒以上強く押し付けてください。両面テープは貼付け後24時間で接着力が最大になります。貼付け後24時間は触らないでください。

カメラ取り付け位置について

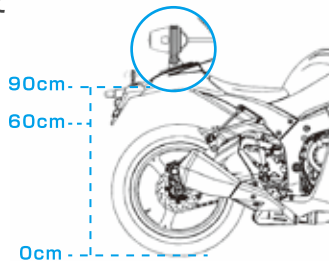
カメラの取り付け位置は下記の要領で決めてください。

左右方向

フロントカメラ、バックカメラが共にできるだけ車両の中心軸上にあること

高さ方向

乗車していない状態でバックカメラが地面から60~90cmの高さに収まっていること
(カメラマウントベース含む)



バックカメラ角度の調整について

死角監視(BSD)機能を有効にするため、バックカメラの仰俯角(上下角)を下記の要領で調整してください。

①



②



③



- ① 車両のシートにまたがり、サスペンションが沈んだ状態にします。
- ② ホーム画面「設定」→「オプション」→「死角監視」→「BSD」→「校正線」でドラレコ画面に切り替え、画面上に校正線が表示されていることを確認します。
- ③ 車両の後方(バックカメラ先端)から8mの位置に目印になる物を置きます。
- ④ 目印が校正線の赤いライン上に映るようにカメラの仰俯角を調整します。